

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	播磨発達支援センターことばの海				公表日 令和7年 2月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	室内は段差なく、フラットな構造になっている。	今後も現状を継続していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		サークル道具、療育教材などを棚に片付けているが、子ども達が触れたり、棚から落ちたり、危険がないとは言えない。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	ミーティングや面談前の振り返りなど、様々な職員で意見交換している。	今後も現状を継続していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		新しい職員にも、業務の仕組みについても伝えていくようにしていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	保護者から得た新しい情報(発達検査や日々の様子)を常に職員間で共有できている。	今後も現状を継続していきます。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	今年度から支援計画書のフォーマットが変わり、面談時に保護者へ変更している旨を伝えている。	今後も現状を継続していきます。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	共通の支援になるよう、情報共有につなげている。	今後も現状を継続していきます。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4	今後、播磨町に出来る予定なので、連携を図っていきたい。	機会があれば助言や連携していけたらと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		今通っている園と情報を共有していることをお伝えし、改善に努めます。施設全體としては難しいですが、個々の方でいらっしゃるのが現状です。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	通信（サニーサイド）にて他施設の情報も知らせている。	今後も現状を継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		必要に応じて参加を検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	研修への参加が未経験の為、機会があれば参加したいと思う。	新しい職員も研修に参加できるよう、調整していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		今後も現状を継続していきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	播磨発達支援センターことばの海			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 9日 ~ 2024年 8月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	2024年 8月 9日 ~ 2024年 8月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々なプログラムを取り入れている。	・集団プログラム、個別療育の実施。 ・就学前レクリエーションでは、調理、施設間交流、外出などを取り入れ実施している。	今後も様々なプログラムに取り組んでいただくよう、内容を充実していきたいと思います。
2	基準以上に職員配置している。	基準以上の職員を配置する事で、集団プログラム、レクリエーションなど、お子様に寄り添って対応できるようにしている。	今後も継続できるようにしていきます。
3	同じ建物内に児童発達支援事業所があり、交流機会が多い。	施設間交流を行い、レクリエーションを通して様々なお子様と関わりが持てるようにしている。	施設間で楽しく充実した時間を過ごせるよう、様々なレクリエーション等を考えていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園、認定こども園、幼稚園との交流機会は少ない。	今年度、保育園や幼稚園などの送迎を開始しているが、交流には至っていない。	利用者についての情報共有を行い、施設との交流に繋がるようにしていきたい。
2	保護者会の開催について	お手紙の配布をしているが、開催日時が平日の為、仕事をされている保護者は参加が難しい。	お手紙の配布時期を考え、早めに配布するなどし、参加しやすいようにしていきたい。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		播磨発達支援センターことばの海							公表日	令和7年 2月 1日		
									利用児童数	29	回収数	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2	0	1	見学時に広いと感じた。	面談時、見学時に活動の様子を見ていただけるようにしています。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2	0	0	人数が多く、手厚く感じた。	契約時、面談時に職員配置状況について説明していきます。				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	21	1	0	1		現状行っている事を説明し、契約時や面談時に保護者にも配慮事項についてお伝えしていきます。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0	部屋がきれいだった。	心地よく過ごせるよう環境を整えていきます。				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	0	プログラムに参加したくない時に寄り添ってくれていた。	今後も現状を継続していきます。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	2	0	2	・通信をメールで送ってほしい。 (通っている施設のカリキュラムと内容のみ) ・午後からの利用の為、朝のプログラムがわからない。	お迎え時、レクリエーションの様子を細かくお伝えしていきます。				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0	保護者の気持ち、利用者の成長に沿って計画を立ててくれている。	今後も現状を継続していきます。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	0	0	2		面談時に必要な項目についてはきちんと説明していきます。				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	0	0	1		日々の伝達方法やサービス提供記録の書き方を見直し、わかりやすく伝えていきます。				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	1	人数や特性に合わせて様々な事に取り組んでいる。	プログラム内容を見直し、様々なプログラムに参加できるようにしていきます。				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	13	2	4	4		送迎時にお話を伺い、園とも交流を行っていきます。				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		今後も現状を継続していきます。				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		今後も現状を継続していきます。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	2	1	3		お手紙の配布に合わせて、保護者の目につく場所に貼り出すなどしていきます。				
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解がでていると思いますか。	23	0	0	0	療育のみの利用だが、様子を伝えてくれている。	今後も現状を継続していきます。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1	1	0		面談時だけでなく、お迎え時など定期的にお話を伺うようにしています。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1	0	0		面談時だけでなく、お迎え時など定期的にお話を伺い、分かりやすく伝えていきます。				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	4	1	5	きょうだい向けのイベントを開催してほしい。保護者会が再開されるので、楽しみにしている。	年間スケジュールを配布予定のため、交流機会を増やしていくよう検討しています。また、保護者会できょうだい間の交流についても検討していきます。				

保護者への説明等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1	0	0	答えのない事、ちょっとした事でも一緒に悩んでくださり、感謝している。	送迎時、面談時だけでなく、申し入れがあった時には迅速に対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2	0	1	情報伝達ミスが多く感じる。色々と仕組みがあるものの防げていない。	職員間できちんと情報を共有し、同じように伝達できるようにしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	0	1	0		通信（サニーサイド）やブログについて、契約時や面談時に伝えていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	0	3		面談時や契約時に伝えていきます。書類は鍵付きボックスに収納し、支援計画書の取り扱いに気を付けます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1	0	1	マニュアルについて契約時に説明を聞いた。	マニュアルについて、契約時や面談時にお伝えし、周知できるよう心掛けていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2	0	0		避難訓練の実施について、保護者にもわかりやすいようノートに記入し、玄関に掲示しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	0	0	1		面談時や契約時にマニュアルに沿って対応している事をお伝えし、迅速に対応できるようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1	0	1		事故等が発生した時には、今後も迅速に対応できるようにしていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1	0	1	週1日利用の為、難しい。	お子様との関わりを大切にし、安心して通って頂けるようにしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	1	0	・泣いてしまう日がほとんどだが、個別療育は笑顔である。 ・今日は波の家に行く日か確認し、利用を楽しみにしている。	新規の利用者、既存の利用者が楽しく通所して頂けるよう、様々なプログラムを準備していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0		今後も現状を継続していきます。